

講義コード	21H1123601	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当者氏名	関根 一希	開講期	1期
科目名	人間活動と環境変化 [ 生物生産と生物圏の物				関根 一希			1期	
履修前提条件									
授業の目的	人類は地球上に出現して以来、地球環境・生物圏より様々な恵みを引き出し、その利用を通して社会を発展させてきた。同時に、人間社会は発展していく中で、直接的にも、間接的にも生物圏を改変してきた。しかし、人間による一方的な資源収奪だけの歴史だったわけではない。本講義では、人間が受けている生物的恩恵と、恩恵の過剰な収奪による生物圏への影響、そして人間の試行錯誤の利用について、物質循環に焦点をあてながら説明する。								
到達目標	日常生活を送る上での行動を選択する際に、農林業などの人間活動のあり方やその背景に連なる生態系のことを判断材料に活用できるようになる。								
授業外学修内容・授業外学修時間数	書籍や新聞、学術雑誌、インターネット等の関連記事に目を配り、農林業などの人間活動が生態系に与える影響に関する情報収集に努めること。また、その関連性に配慮して日常生活を送り、本講義内容と関連づけること。以上の授業外学修を60時間以上行うこと。								
授業計画	<p>【第1回】概要説明  【第2回】生物圏とは何か  【第3回】生命活動に必要なエネルギーと物質  【第4回】生態系の機能と生物生産  【第5回】陸域生態系における物質循環  【第6回】淡水生態系における物質循環  【第7回】海洋生態系における物質循環  【第8回】人間活動と物質循環 ～炭素～  【第9回】人間活動と物質循環 ～窒素～  【第10回】人間活動と物質循環 ～リン～  【第11回】農林業の歴史と現状  【第12回】農業と野生動物  【第13回】まとめ</p> <p>授業内では復習テストやリアクションペーパーを課し、受講生の習熟度を検討する。習熟度に応じて授業進度を変更する可能性がある。</p> <p>課題に基づいたディスカッションやプレゼンテーションを授業中に行う予定であり、積極的に発言することが必要となる。</p>								
成績評価の方法	授業への取り組み姿勢（授業内での復習テストやリアクションペーパー、プレゼンテーション課題）60%、期末試験40%。								
フィードバックの内容	課題に基づくとりまとめやディスカッションを行う。プレゼンテーションについては、授業内で随時コメントする。								
授業実施形態について	「対面授業」								
教科書									
書籍名	著者	出版者	出版年	ISBN/ISSN					
指定図書									
書籍名	著者	出版者	出版年	ISBN/ISSN					
参考書									
書籍名	著者	出版者	出版年	ISBN/ISSN					
『人と生態系のダイナミクス』	宮下 直, 西廣 淳	朝倉書店	2019	9784254185416					
『人と生態系のダイナミクス』	鈴木 牧, 齋藤 暖生, 西廣 淳, 宮下	朝倉書店	2019	9784254185423					
『人と生態系のダイナミクス』	飯田 晶子, 曾我 昌史, 土屋 一彬	朝倉書店	2020	9784254185430					
『人と生態系のダイナミクス』	堀 正和, 山北 剛久	朝倉書店	2021	9784254185447					
『人と生態系のダイナミクス』	西廣 淳, 瀧 健太郎, 原田 守啓	朝倉書店	2021	9784254185454					
教員からのお知らせ									
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談はオフィスアワーにて受付けます。ただし、緊急事態宣言などにより、対面授業が実施できない場合は、別途、お知らせします。								
アクティブ・ラーニングの内容	プレゼンテーション、ディスカッション								
実践的な教育内容									
その他									